

< 5月-6月のギャラリー展示 >

『しりとりえほん3』

5月6月の展示は、一恵さんという人の『しりとりえほん』から3度目の展示です。

一恵さんは、開院のときに小児病棟のニッチの飾りの文字を切り紙で作ってくれたり、イナホ珈琲やレストランのテーブルに置かれた小さな花のカードを作ってくれました。ニッチのギフトとして全部手貼りの「しりとりえほん」も仲間と共に贈ってくれました。その小さなしりとりの本は、最後の数ページは真っ白です。病院に居ることも達が、たとえハサミで紙を切らなくても、心の中で次のしりとりはなにかな？と想像してもらえたら、その一瞬が病気のことを忘れる時間になってほしいと、一恵さんの思いからです。前回の展示の最後の「ごぼう」のつづきが何か壁に貼った紙に書いてもらったら、いろんな言葉が書かれていました。有り難うございました。今回も最後の「ドーナツ」のつづきが何か、思いつく言葉を書いていただきたいです。ここに来てくださるみなさんと、会えなくても紙のコミュニケーションをしながら、共にこの場所の展示を豊かにできることを願っています。

